CLA Award 2026

特　別　賞



①

新たな公民連携による子育て空間の創出
―長岡公園リノベーション

株式会社空間創研
野見山志帆・橘俊光・日野誠次・荘田隆久
株式会社 SALHAUS
安原 幹・坂口真一・野口万莉乃（元社員）

1. 再整備事業の背景と経緯

長岡公園は、京都府長岡京市の中心部に位置し、長岡天満宮に隣接する地区公園である。1982年の供用開始から40年以上が経過し、施設の老朽化や樹木の繁茂が顕著であり、再整備が必要な状況であった。

長岡京市と、同市に本社を置く世界的な総合電子部品メーカーの株式会社村田製作所は、地域の発展と持続可能なまちづくりを目的とし、包括連携協定を2022年5月に締結した。同年10月には、長岡京市の市制施行50周年事業の一環として、長岡公園再整備のための協定を締結し、事業を推進した。

2. 公民連携の新しい形

最大の特徴は、村田製作所が主体的・積極的に取り組み、基本構想・計画、測量、設計、工事発注・監理までの費用を全額負担するとともに、自ら執行し、その完成した公園施設を市へ寄附（物納）した点にある。株式会社空間創研は村田製作所の委託を受け、協議・調整を進めるとともに全体マネジメントを担い、事業を推進した。長岡京市、村田製作所、空間創研の三者が協議を重ね、完成まで一体的に進めることができた。

3. 再整備方針と主な整備内容

村田製作所が設置した有識者懇談会（委員長：美濃伸之兵庫県立大学大学院・兵庫県立淡路景観園芸学校教授）において、再整備コンセプト「多様な人々が集い、安らぎ、公園で過ごす時間を楽しむこれからの長岡公園」が定められた。出会いゾーンとセンターゾーンを中心とした約1haを整備区域と設定し、多様な世代の来訪を目指し、これまでは利用が少なかった子育て世代に重点を置いた新たな空間を整備した。

開かれた空間づくりを目指し、ランドスケープと建築が連携してセンターゾーンの計画を行った。公園利用の中心となるセンター棟「fuRari（ふらり）」（愛称）には休憩室や授乳室、小上がりを設け、隣接する乳幼児の遊び場「ふんわり原っぱ」と一体的・連携した空間づくりを行った。子どもの遊び場「でこぼこ広場」は、凹凸のある地形が様々な感覚を刺激し、子どもたちが自由に動きまわる遊び場である。センターゾーンは、子どもを介した新たな交流の場、地域で子育てに関わる場として役割を果たす空間である。

4. 公園への親しみを育み、深める取り組み

リニューアルオープン時に村田製作所の社員有志から207冊の児童・幼児図書が寄贈された。寄贈者から本を手に取る方へのメッセージが添えられた図書もあり、公園で過ごす時間に楽しみを添えるアイテムとなっている。

また「fuRari（ふらり）」では、保護者の育児相談・交流の場「こども保健室カフェ」や市民団体による絵本の読み聞かせ会、村田製作所による電子工作教室・防災教室など、子どもや親子向けのイベントが継続的に開催されており、地域に根差した取り組みが今後も継続・発展し、地域に愛され、使い続けられることが期待される。

5. 事業実施の効果

今回の再整備事業は、村田製作所から提供された場所・人材・ノウハウなども最大限に活かすことで、事業の円滑な進行につながり、構想から公園完成までを約3年で実現した。公民連携により効率的かつ効果的に事業を推進した事例といえ、今後の公園再整備を考える上でもモデルケースとなる取り組みである。

再整備により、幼児から年配の方まで多様な人々が長岡公園を訪れ、集い、安らぎ、公園で過ごす時間を楽しまれている。

作品概要

作品名――新たな公民連携による子育て空間の創出
　　―長岡公園リノベーション
所在地――京都府長岡京市天神 2丁目
発注――株式会社 村田製作所
設計――株式会社 空間創研
建築設計――株式会社 SALHAUS
監理――公園工事：株式会社 空間創研
　　建築工事：株式会社 SALHAUS
施工――株式会社 日比谷アメニス
設計期間――公園基本構想～実施設計：2022年 6月～2024年 3月
　　建築基本設計～実施設計：2023年11月～2024年10月
施工期間――2024年 8月～2025年 8月
規模――約1ha（公園敷地3.96ha）
主要施設――憩いの広場、乳幼児の遊び場、子どもの遊び場、駐車場、駐輪場、センター棟（休憩室、授乳室、小上がり、トイレ）、屋外滞在空間

作品評

本事業は株式会社村田製作所（以下、「事業者」という。）が、自身の費用によって地区公園の再整備を行って長岡京市に寄付したものである。応募者は市と事業者との協議・調整、計画・設計等を行って、事業推進のトータルマネジメントを担った。応募者の行った業務は、基本構想立案、基本計画策定、測量、基本設計・実施設計、工事発注・管理及び協議・調整に及んでいる。

都市公園事業は新たに作ることから管理運営に転換しつつある。都市公園は老朽化が進み、社会のニーズに合わなくなっている面があり、再整備が必要になっている。しかし、自治体は予算が限られているため再整備は進まない。本事業は老朽化した公園を、民間企業が市に代わって再整備に取組んだ事例である。

応募者は老朽化している都市公園を、民間企業が社会貢献として再整備を行う事業の支援を行った。公園の専門家として計画・設計にとどまらず、プロジェクト全体のマネジメントを成し遂げた。この取り組みは高く評価される。ランドスケープコンサルタントの新たな領域を開拓した功績に賛辞を惜しまない。



②

③

④



⑤



⑥



⑦



⑧

①センター棟「fuRari（ふらり）」はランドスケープとシームレスにつながり、開放的で居心地の良い空間を提供している　②長岡公園再整備事業の全体スキーム図
③センターゾーンを上空より望む　④センター棟「fuRari（ふらり）」　⑤子どもの遊び場「でこぼこ広場」　⑥乳幼児の遊び場「ふんわり原っぱ」
⑦寄贈された児童・幼児図書と小上がり　⑧村田製作所による電子工作教室　①、③、④、⑥、⑦の写真：笹倉洋平